

生活協同組合コープさっぽろ・サッポロビール株式会社・北海道

「北海道の森を元気にしよう！」コープさっぽろ×サッポロビール×北海道の3者共同カーボン・オフセットキャンペーン

サッポロビールが製造し、コープさっぽろを通じて販売する対象飲料6銘柄 計315万1,800本を北海道産の排出権でカーボン・オフセット



取組の概要

サッポロビールが製造し、コープさっぽろを通じて販売するアルコール飲料を対象に、缶飲料は1缶1円、ワインは1本10円分を北海道内の各自治体が行う森林保全活動から産まれた排出権購入に充て、対象飲料を飲む消費者の日常生活に伴って発生するCO2の一部をカーボン・オフセットしました。

オフセットの分類	クレジット付き商品・サービス型	認証取得(制度名)	-
取組の実施時期	【第1弾】2013年11月6日～(各対象商品販売終了まで) 【第2弾】2014年7月8日～(各対象商品販売終了まで)		
クレジット	クレジットの種類	J-VER	
	プロジェクトの種類	森林吸収系	
	プロジェクトの名称	北海道有林森林吸収エコビジネス支援プロジェクト～「キキタの森」の間伐促進プロジェクト～等の北海道内の14の自治体において創出されたクレジット	
	プロジェクト実施地	北海道	
オフセット量	220t-CO2		
無効化日	2014/1/20、2014/2/3、2014/10/14、2014/10/20、2014/11/4、2014/11/17、2014/11/25		
販売数、参加者数等	対象本数:【第1弾】1銘柄1,336,800本、【第2弾】6銘柄1,815,000本		
価格、参加費、クレジット費用の負担	提供者がクレジット費用を負担		
オフセット・プロバイダー	マイクライメイトジャパン株式会社		

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
対象飲料を飲む消費者の日常生活に伴って排出するCO2について、缶飲料は1缶1円(税別)に相当する約66g-CO2を、ワインは1本10円(税別)に相当する約666g-CO2をオフセットの対象範囲としました。	【コープさっぽろ】 全道の店舗や宅配や組合員の家庭から出る資源を回収し、再利用するためのエコセンターの建設等 【サッポロビール】 節電、節水、省電力機器の導入の推進等 【北海道】 公用車移動ではエコドライブの実施等

取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
キャンペーン中に収集した販売統計データから、カーボン・オフセットを利用した本キャンペーンが、お客様の商品選択の動機になったことが確認できました。 道有林ならびに北海道内の13市町村有林から産まれた排出権を利用してのカーボン・オフセットを、流通・メーカーの連携のもとに採用したことが消費者の関心を引き、カーボン・オフセットの普及と市民の環境啓発に貢献できました。	第1弾、第2弾ともに販売開始前日に北海道庁赤れんが庁舎会議室にて共同記者会見を実施しました。生活協同組合コープさっぽろ 理事長 大見英明氏、サッポロビール(株)常務執行役員 北海道本社代表 兼 北海道本部長 高島英也氏に加えて、第1弾は北海道副知事 山谷吉宏氏、第2弾は北海道知事 高橋はるみ氏等が登壇し、キャンペーンの内容を発表しました。

【問い合わせ先】 生活協同組合コープさっぽろ 秘書室 担当:平尾 円香	TEL: 011-671-5601 Email: m.hirao@todock.jp ウェブページ: http://www.sapporobeer.jp/area/hokkaido/products/coop_mugitohop/index.html
---	--